

確かな学力・豊かな心・健やかなからだをもち、
未来をたくましく生き抜く生徒の育成

意味を考えると行動が変わる

春が近づくと予兆のように、朝早くからウグイスが鳴き始めています。年をとったせいかな、一年が過ぎるのが無性に早いような気がします。

先日の集会で、家庭教育学級のときお話しさせて頂いたことを少し話しました。

「今日は、お元気ですか」「はいおかげさまで」「さようなら、ご機嫌よう」。これが日本の挨拶の原型で、「あなたの心の中の太陽はお元気でですか?」「はい、太陽のおかげでも元気で」「そうであるなら、ご機嫌がいいですね」という意味であることを伝えました。

あいさつは、相手を思いやり、気遣うとても優しい気持ちの表れであり、太陽がその考え方の中心にあるということだ。

「お母さん」という言葉も、「カアさん」からきており、「カア」とは太陽が燃える様子を表す昔の表現です。つまり、「お母さん」とは、太陽のような存在(太陽そのもの)という意味です。

このように普段何気なく使っている言葉には意味があり、それを知ると、言うときの気持ちが変わり、言い方が変わるのでありませんか。

少し視点を変えます。みんな授業の終始に、「立腰」をしていますね。立腰は、「姿勢を正すことにより、健康面はちろんですが、気持ちまで引き締め、集中力ややる気が出てくる」と知ったら、授業の終始だけにやるものではないことが分かりますね。そうなると、おのずと行動が違ってくるではありませんか。

花火大会の手伝いは何のためにやるのでしょうか?朝の清掃は何のために?高齢者への年賀状書きは?ふれあい給食は?

意味を考えると行動が変わってきます。変わらなくはないのですが。

次年度、一つ進級する皆さんに、そういう考えをもつことができるようになってほしいと思います。

《ふれあい給食&じゃーじゃ君来校》

3月4日に第3回目のふれあい給食を実施しました。今回は原地区の6名の方にお越しいただきました。この日は同時に、宮日新聞の「じゃーじゃ君」の取材も入っており、写真撮影などももあり、また違った雰囲気での給食となりました。



【森川様】

【岩元様】

【日高様】

【安竹様】

【永井様】

【横山様】



「じゃーじゃ君」の取材では、本校のキャラである「クリもん」とのコラボや、代表生徒へのインタビュー、全員での写真撮影などを行い、報道の職業を知るとともに、須木中を発信するいい機会となりました。

4月に「宮日子ども新聞」(土曜日発行)に掲載されます。楽しみにしています。



《平成27年度記念植樹祭》



3月5日に「かるかや」近くの広場で、中学校3年生及び小学校6年生の卒業記念樹の植樹がありました。市町や議長の挨拶に続き、40本以上の桜の苗木を一人1～2本植えました。シカ対策として、苗木の両側を竹で被いました。地区の方も一緒になり短い時間でしたが、気持ちのよい天気の中、楽しみながら作業を進めました。やがて数年後にはみごとな花を咲かせてくれることでしょう。

